

前号までの10回(『acueducto』第25号～第34号)では等位接続の複文と従属接続の複文を扱いましたが、最後に残った構文があります。「結果構文」(estructura consecutiva)と呼ばれるものです。ただ、この構文は一般向けの文法書でも専門的な研究書でもあまり扱われていません。またその記述についても必ずしも意見の一致がありません。本連載は中級の読者を想定してるので以下のように2つに分類して話を進めます。

- ①「相関の結果構文」(estructura consecutiva correlativa)
- ② それ以外の結果構文

まずは①の「相関の結果構文」ですが、これが本来の結果構文です。以前に(第10号)比較構文(estructura comparativa)を扱いましたが、両者には共通点があります。同等の比較構文で«tanto~como»「～と同じくらい」がありましたが、代表的な結果構文はcomoの代わりにqueを使った«tanto~que»で構成します。例文で見ましょう。

Este verano hace **tanto** calor **que** no podemos salir de casa.
この夏はとても暑いので家から出ることができない。

「とても暑い」の結果として「家から出れない」と言っています。「暑さの程度」とその結果「家から出れない」ことに相関関係があります。これが単なる結果を表す構文と異なる点です。相関構文でない形式では単なる結果を表します。次の文と比べてみましょう。

Este verano hace mucho calor, **así que** no podemos salir de casa.
この夏はとても暑いので家から出ることができない。

こちらの例文でも、「暑い」→「外出できない」という「原因→結果」を言っていますが、暑さの「程度」はとても暑いと言っているだけで直接の相関関係はありません。一方«tanto~que»では、単にとても暑いのではなく、「外出ができないほどの暑さ」であると言っているわけです。文法的に言えば、相関の結果構文は«tanto~que»と2つの相関要素が必要です。一方、後者の例文では前半の文と後半の文の間に **así que** という接続詞句がある構造になっています。

比較構文と結果構文の関係をもう少し整理しておきましょう。

Este verano hace **tanto** calor **como** otros años.
この夏は他の年と同じくらい暑い。→比較構文

Este verano hace **tanto** calor **que** no podemos salir de casa.
この夏はとても暑いので家から出ることができない。→結果構文

比較構文の場合には後半部に通常、省略がありますが、結果構文にはありません。いずれにせよ、両構文は文法的に言えば、比較構文と結果構文は非常に近いものなのです。形式の対応関係を以下のように整理することができます。

比較構文	結果構文
tan(to)…como	tan(to)…que
tal…como	tal…que
así…como	así…que

言うまでもないことですが、tantoが名詞に係る場合はその性数に一致します。いくつかの例文を挙げます。

Cada día recibo **tantos** correos **que** no puedo contestar a todos.
私は毎日たくさんのメールを受け取るのですべてに返事ができない。

María tenía **tanta** vergüenza **que** no pudo hablar con Miguel.
マリアはとても恥ずかしかったのでミゲルと話すことができなかった。

Antonio es **tan** alto **que** llega al techo.
アントニオはとても背が高いので天井に届く。

最後の例では tantoが形容詞の altoに係るため語尾の -to が脱落して tan になっています。

さて、«tanto~que»の構文は英語では何に相当するのでしょうか。答えは、«so~that»「とても～なので…」の構文に相当します。英語では他に«such~that»「そんなに～なので…」という類似構文がありますが、こちらはスペイン語では«tal~que»に相当します。

La belleza del paisaje era **tal que** me quedé maravillado.
その景色の美しさはたいへんなものだったので私はとても驚いた。

さて後半は、②の「相関構文以外」の結果構文を見ていきましょう。代表的な例文は既に出した **así que** のものです。以下取り上げる表現は、第27号の推断文で既に扱ったものです(一部の例文を再掲します)。実は「推断文」は場合によっては「結果文」や「引継ぎ構文」等とも呼ばれるわけです。

No entiendes nada de mi trabajo, ¡**conque** cállate!
お前は俺の仕事のことは何もわかつちやいない、ならば黙つてよ!

この接続詞 **conque** は con と que からできたのですが、必ず1語にくっつけてください(離した場合は、前置詞 con + 関係代名詞の que が名詞節を作る que となります)。

Pienso, **luego** existo.
われ思うゆえにわれあり。

これは有名なデカルトの言葉です。ラテン語の "Cogito ergo sum" (Cogito・エルゴ・スム)のスペイン語訳ですが、「われ思う、ゆえに存在する」となっています。

さて次は **de modo que** という慣用句です。この句にはバリエーションがあつて modo の代わりに manera, forma 等が使われることもあります。

Ayer me caí por la escalera, **de modo que** me rompí un brazo.
昨日階段で転倒したので腕を骨折してしまいました。

最後に結果を表す副詞句の例を見て終わりにしましょう。por eso, por lo tanto, en consecuencia, consiguientemente 等です。

En Galicia ha llovido muy poco este año, **en consecuencia** ha habido muchos incendios.
ガリシアでは今年ごく僅かしか雨が降らなかった。結果的に多くの山火事があった。

複文の中でもっとも複雑なものは比較構文と(本来の)結果構文です。しかしどちらもスペイン語では頻繁に使われる構文です。これらの表現を理解するとスペイン語の読解力と表現力が各段にアップするのではないかと思います。



仲井 邦佳 / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同友社)などがある。